

(1) 組合だより

組合だより

発行所 中標津農業協同組合・中標津町農業共済組合
発行 昭和54年1月 第55号 印刷・アート印刷株式会社《新年号》



1979年 元旦

謹んで新春の
お慶びを申し上げます

中標津農業協同組合・中標津町農業共済組合

明けましておめでとうございます。昭和五十四年の輝かしい新年を迎え心よりお祝い申し上げます。昨年を振り返ってみますと、円高ドル安は続き、景気底速の環境下にあつて、米の生産調整が大巾に行われ保証乳価等一連の畜産物価格は完全に据え置きとなり、農畜産物はコスト上昇分を充分吸収出来なまま推移し、貿易収支の黒字べらしのため農畜産物の輸入の拡大への圧力が強まり、きびしい経済状況下の一年でありました。而し私共の地域は、根室開拓以来ともいわれる良い天候に恵まれ、暑さのため乳量のダウンは見られましたが、量質共に良い粗飼料が確保され、畑作においても全道には一部旱魃の地帯もありましたが、馬鈴薯ビート共に平年作を上廻る収穫が見られました。



年頭のごあいさつ

中標津農業協同組合
組合長理事 児 玉 光 彦

天候はともあれ組合員の皆様の日頃の御努力に対し心より敬意を表します。又、農協事業におきましては始めて行いました農民運動会、農協創立三十年記念式典と大行事を行いました。組合員皆様の御努力により盛況の中に終わりました。心よりお礼申し上げます。本年は昨年よりのきびしい経済の動行は長く尾を引き、国鉄料金、石油等、又交税法改定による運搬料金の増を考へ見る時、国内的インフレの再燃も予想され生活生産物価の高騰など農家経済においても、きびしいものが考えられます。農協も組合員の皆様と共にきびしい経済情勢の認識の上に立って、経営内面の充実を図り、協同活動強化運動を中心にお互いの英知を出し合い、実践して協同の力で、経済不況の中の多くの問題に立向おうではありませんか。最後に組合員ご家族の皆様のご健勝とご繁栄を心よりご祈念致しましてご挨拶と致します。



竹村満夫、秋山政雄、佐藤載康、山本雪信、鷺見 孝、金子安有、岡部 実
三友盛行、千葉 弘、千葉清一、児玉光彦、石崎多門、横田国雄、藤井弘美

新しい時代に耐えうる意識 の転換を求めて

中標津農業協同組合参事 成 田 武



明けましておめでとございませう。皆様お元気で新春を迎えたこととお慶び申し上げます。さて、昨年は農協創立米三〇年を迎えました。これから私共は当面六〇年度に向っての経済の動向を認識し乍ら当地域の農業と生活づくりをどう進めるか、課題を考えてみたい。

一、経済の客観状況は
ご承知のとおり失業、倒産が続いていますが経済の成長率は今後十年の予測を見てもせいぜい五%程度或いは三%の見方もあります。従って之に耐え得る転換が必要となつていきます。企業は減量経営を図り乍ら消費者が求める新しい創造力、つまり開発研究に努力中、而し又資本力の強い企業の進出など企業間の競争が激しいのも事実

いかに生き残るかという時代です。が、之でよいのかという疑問も感じます。只過去のような成長期は終つたことを再認識することです。二、農業をめぐる問題点は一般所得の低下の中で農畜産物は消費停滞の状況ですが、特に飲用乳、乳製品の消費拡大が最も大きな課題です。乳製品の輸入は二二〇万トンですが国内生産との価格差からこのような現象、このため乳製品は在庫過剰、輸入阻止は当然守らなければなりません。酪農近代化計画の六〇年に向っての乳価はどうなるかということ。本道の生乳は今年の予測で一八五万トンですが、この二間で三五万トン増加。六〇年度目標は三〇〇万トン、自給率九四%を計画しています。一方補給金財源は四四〇億ですが本年も限度数量オーバー分について国は財源難から難色を示しています。勿論この為角度を変えた運動が必要ですが、一方之に耐え得る経済のあり方を考え

ることが現状最も大切な時期です。

三、今後の営農と生活の課題

● 個体乳量、単位取量をどこ迄上げられるか。つまり生産性の目標を設けた推進への取り組み。土づくり、草づくり、牛づくりの(原点)

● 農機具を始めとする物を大切に
する認識の転換。

施設はかなり充実しましたが、生産力との均衡の問題があります。特に農機具にとびつき過ぎないか、永く持たせる努力を怠っていないか、又施設に余り金をかけ過ぎないだろうか。生産に重点をおき実のある投資でありたい。

● 投資の限界点の認識。

● クミカン表を活用して下さい。

● 必要最低限度の記録分析を行い
コスト低減の方策の検討。

● 乳製品等の消費拡大運動の取り組み。

● 乳牛等副産物の販売体制の強化
づくり。

● 暮らしの簡素化づくり。
● 組合員が行うこと。農協が行うこと。の取り組み。(協同活動実践計画)

以上は課題の一部かと思えます。農協が行うべき課題も多いと感じます。今回戸別訪問を終って感じたことは教えられることも多いものがありました。又組合員の皆さんから担当にすぐ話して貰えれば解決できるものもありました。只農協と何ぞや、その理解度の問題が残されているような気がしません。又職員として誇りのもてる職場でありたいと願っています。新しい時代に向って認識を新たにして考える力を養いお互いに協力したいと存じます。



宝樹の 寄贈



「春から縁起が良い」と慶び事のある時に言いますが、豊岡の古瀬イセさんが、農協事務所に寄贈してくれました。

この樹は、高た五十六センチで円周が二メートル二十七センチもある大きな立派な鉢物で、宝樹と呼ばれる縁起の良いものなので、大切に扱っています。



盛大に30周年 記念式典と祝賀会

創立三十周年記念式典と祝賀会が町体育館で行われた。

会場には組合員、来賓をあわせて六百人を越える人たちが出席され、まず初めに児玉組合長が「過ぎた三十年は苦難を乗り越えた時代。しかし酪農の主産地としてめざましく発展、畑作、ジャガイモを基幹作目として進展した。これからは経営内容の充実を図り、農民を守る組織として一層の努力を傾けたい」とあいさつ。続いて元組合長ら功労者五十九人と三団体に感謝状、永年勤続者十九人の職員に表彰状がそれぞれ組合長から贈られた。

又、受賞者を代表して正城武氏(第二代組合長)が謝辞を述べ、式のあとは盛大に祝賀の宴で三十年の節目を祝い合った。

受賞者は次の通り。

◆感謝状 ▼特別功労 故児玉由一、正城武、故奥田繁、鷺見孝男、尾崎豊、▼組合功労 故湯山重信、故清原庄太郎、西山豊一、秋山勝彦、矢野義種、故尖戸潔、宮田正晴、岡部幸次郎、故小林国満、故笠井登、菅原英夫、沢口正士、故作原浜一郎、故上田長四郎、故中川保作、滝場章、一条定之、故山本進、故小林条造、楠木一正、故永谷清次郎、久本一雄、故佐藤雅義、故鹿股勝記、高平幸太郎、

上ヶ島春雄、小塩正春、故白田潤一郎、遠藤幸吉、山本正、故滝ヶ平誠、佐藤成雄、三輪一郎、川上優、故目黒直次、秋山実太、田代昭、青山喜代春、西山高藏、松隅健二、宮脇正治、故瀬野金作、三宅勘次、村田雄平、故加藤貞雄、清原清、▼永年勤続 児玉光彦、石崎多門、千葉清一、横田国雄、三友盛行、藤井弘美、金子安有、

山本雪信、▼協力団体 中標津農協青年部、婦人部、北海道農文協
◆表彰状 ▼永年勤続 成田武清水良雄、伊藤松義、千葉益雄、三浦準治、高橋悦郎、五百木忠雄、中川保、小森浩二、児島馨、沢田哲朗、入倉英夫、黒田良明、阪口一三三、重松幹雄、飯島佐市、松尾和夫、高藤昌之、阿部明良



新しい年も明け組合員の皆さんにはS五四年の営農計画又新たな当年計画等種々ご多忙の事と思います。

例年一月には肥料の取まとめを実施し配送は三月より取進めて居りましたがご承知の通り昨年十二月一日より道路交通法が改正され積荷の数も嚴重なる規正が行われて居ります。

此の様な状況下であり需要期の配送が今から懸念されて居ります貨物扱・工場直取等荷受計画を早め立て配送に支障のない様に取進め申す。

此の様な状況下であり申すので肥料注文書は期日迄に提出方厳守して下さい。

猶本年度の肥料価格については品目別には異りますが平均して昨年度価格より六%前後安くなり申すのでご承知下さい。

肥料の注文書は
期日迄に提出を

アメリカ・カナダ

酪農研修視察報告

畜産課長 佐野 静 二

【アメリカの酪農】

広大な国土を持つアメリカ、日本の約二五倍。西海岸のサンフランシスコからシカゴまで空からながめて国土の広大な広がり、直線で仕切られた畑、等高線に沿って伸びる牧草畑、最近急速に普及したという円形の灌漑畑、それらの広さを正しく認識するとはアメリカの農業の規模を理解するのに重要であった。アメリカの農業は酪農、トウモロコシ、小麦、大麦、エン麦、綿花、牧畜、野菜、果樹タバコと多種多様である。今日の世界的景気後退のなかでアメリカの農産物輸出額は一八五億ドル、世界の穀物輸出の六五%を占めるという。アメリカの乳牛飼養農家のうち飼養頭数規模で三〇頭〜五〇頭階層が全体の三〇%を占めて五〇頭〜一〇〇頭が二〇%、一〇〇頭以上の階層が七・五%で残り四二%ほどが一〇頭〜三〇頭規模です。ウイスコンシン州の一戸当り経営面積六八ヘクタール、乳牛頭数五八頭、労働人員一・六人、

一頭当り搾乳量七〇〇kg 酪農形態は個人八五%、協同経営一三%、企業経営二%となっていて大部分は家族経営でありウイスコンシン州の酪農の主体は中小規模経営である。穀物の価格変動、政府の価格政策等で離農し廃屋化した牧場は根室管内に見られる光景とダブって目に焼きついた。

【カナダの酪農】

カナダの国土は日本の国土の二七倍、私達の視察研修したオンタリオ州でも日本の二・七倍、カナダは農業開発途上の段階で第一次産業に重点を置いている国情が反映しておりアメリカに比べて活気があるように思われた。労働人員は不足して夏期の牧草収穫期にはアルバイトを使う。ブリーダーには日本、オランダからの実習生二〜二人がいて元気にトレーニングに励んでおり、オーナーの信頼も厚く、頼もしいかぎりであった。私達は案内してくれたカナダ、ホルスタイン協会事務局長 フレモンズ氏は日本の「乳牛改良」は近年

一頭当り搾乳量七〇〇kg 酪農形態は個人八五%、協同経営一三%、企業経営二%となっていて大部分は家族経営でありウイスコンシン州の酪農の主体は中小規模経営である。穀物の価格変動、政府の価格政策等で離農し廃屋化した牧場は根室管内に見られる光景とダブって目に焼きついた。

進歩が著しいがカナダは日本に負けないよう乳牛改良に努力している成果をみていただきたい。カナダは乳牛の生産を計画生産で調整しているので牛乳の生産が過剰にならないよう日本をはじめ世界各国に乳牛の個体輸出に力を入れていくから宜ろしくとコマースヤルベース調で話された。

オンタリオ州の一戸当りの経営面積八〇ヘクタール、乳牛頭数一〇〇頭、労働人員二人、一頭当り搾乳量六、七五〇kg
次回に飼料、乳牛等について記載致します。

■ 研視察地

● アメリカ

- ワシントン州 カーチス人工授精所（イリノイ州）、エルムウッド（イリノイ州）、クレセントビュー（イリノイ州）
- アイ（ウイスコンシン州）
- ワシントン州 ニールセンエーカーズ（ウイスコンシン州）
- カナダ

- ダウネル（オンタリオ州）
- スチュワートハイブ、アグロエ

- イカーズ
- ボンドハイブ、グレナフトン、オークリッジス、ハノーバーヒル
- ピットランド、スプリングサニーメイブル
- ローヤル・ウインターフェアー（オンタリオ州トロント）
- 人工授精所1、ブリーダー
- 14、生乳生産農家2

**Aコープ商品は
こうして
生まれる！**

Aコープ商品を作るすべての過程に組合員の希望意見がもり込まれるしくみで開発されています。物によってはちがうこともありませんが、たとえばAコープ特選正油が生まれてくるまでの過程においては、基本的には次のように作られるのです。

- 開発希望意見——年二回
十二月・六月
- 開発商品の試案の策定——
組合員・準組合員
- 開発商品の明確化
全農婦協・全農・生活指導員
- 開発試案候補品目の決定——
年二回
- 組合員（全農婦協）生活委員会・全農
- 試作品の作成——メーカー工場
- 組合員使用テスト分析——
組合員、テスターによるテスト・分析（専門機関）
（全農商品検査室）
- 意見集約開発の決定——
組合員（商品開発モニター）
全中・全農
- 取扱開始・供給促進——
全国Aコープ店・全農
- 品質管理——全国Aコープ店・
全農・意見苦情収集
- よりよいAコープ商品化へ——
定期点検及分析、全農
（商品検査室）
- このようにAコープ商品は組合員・準組合員のくらしの中に役立つ安全で本物の商品を作るため、十分に話し合いテスト分析されて生まれてくるのです。又、組合員の意見希望を反映させるため検討・改善が続けられています。
内容も豊かで安心して使うことのできるAコープ商品をこれから
もより前進させていきましょう。

共済組合 診療課より一言

新年おめでとうございます。旧年をかえりみながら、診療課から何かのご参考にと一言申し述べさせていただきます。

ご承知のように昨年は6月の14日を境にして気温が急上昇し、乳牛もそれをもろに受けて減乳の外日射病・熱射病が多発し、発情がとぶなど大影響を受けました。

更に好天に支えられて草料の牧草がのび、垂果裏腫が統発し、秋には多くの牛がガス(鼓脹症)で冥土へ旅立ち、畜主を嘆かせました。

一般に乳牛の飼育適温は5℃〜27℃とされており、昨年のような気候では当然さまざまな障害が起つて参ります。

ここ数年、死亡頭数が15頭程度のものが、一挙に3倍の43頭となったガスによる死亡も、ただ、草料の牧草がのびすぎただけではなく、暑さによる体力の消耗も遠因になったのではないかと考えます。今後の課題として暑熱から牛を守るため、被覆林や牛体への散水施設など一考頂ければ幸いです。またのび過ぎた草料牧草の成育を調整する施肥設計も是非実行に移さ

(数字は見やすいように四捨五入とし概略表示)

病名または病類	左の説明	43年を基準とした年度毎の倍率 (43年を1とする)				53年度における 53年度に おける 倍率 53年度に おける 倍率	発病牛の死亡率	
		50	51	52	53		過去10年平均 の死亡率	過去3年平均 の死亡率
産前産後起立不能症	分娩前から起立不能症のもの	▲0.4	1.8	2.8	1.6	0.13	42.0	14.3
産後起立不能症	分娩後に起立不能症になったもの	1.7	1.5	1.5	2.3	1.44	8.6	8.6
カルシウム不足	分娩と関係なくカルシウム不足のもの	1.6	2.3	1.4	2.3	1.45	6.8	1.5
低血球症	脱臼と名のつくもの	4.2	3.6	1.2	2.3	0.75	1.0	0
脱臼	頸骨骨折、肋骨骨折等も入る	27.7	42.6	28.2	40.5	0.72	92.9	計算せず
骨折	▲0.8	4.3	3.7	4.7	0.16	0.20	88.5	—
その他の運動器病	蹄病、筋、腱鞘炎などの合計	1.1	▲1.5	▲1.3	▲0.9	1.2	1.3	—
神経麻痺	座骨神経麻痺等	1.0	1.4	3.8	3.7	0.18	2.1	—
背骨の損傷	座骨神経麻痺による腰背損傷	11.7	14.5	5.7	4.7	0.14	29.3	—
		10.0	4.2	8.7	5.6	0.06	95.4	—

注 53年度は10月現在の数値

れるようご検討頂きたいと思えます。付随して申し上げますと、一般に異なった草種の牧野への転換や、飼料の変更が可成り急激に行われていた実情が目につきます。飼料の急変は、消化器に負担をかけ体力の消耗を招くので10日位の日数をかけて行って下さい。

次に、長期的な見方の上で見落すことの出来ないのは、起立不能症関係の病気で、その中でも脱臼骨折が増加の一途をたどっていることです。

ポイントを入れるとか、紐でしばるとかをして、絶対に乳を漏らさないようにして下さい。起立不能症や乳熱の発症予防や病状の軽減に必ずつなぐります。

次に、長期的な見方の上で見落すことの出来ないのは、起立不能症関係の病気で、その中でも脱臼骨折が増加の一途をたどっていることです。

最近の牛は、若令牛では石灰分がしっかりと骨の中に入り込んで、丈夫な骨を作る化骨現象が衰え、壮・老牛では牛乳中に石灰分を移行させるため、骨の中に含まれている石灰分がどんどん流れ出している石灰分現象が進み、自然に自分の骨が危くなったり、縮小したりして、その為にこの様な病気が多発して来たと思われています。

とされ、それ以上与えても泥として腸の中を素通りし、場合によっては悪影響を与えます。ですから石灰分を充分牛体に取り入れる為には吸収や利用され易い形で含まれている日常の餌の中にたっぷり含ませ求めるのが最も大切なこととなります。しかも餌の中に自然に含まれている石灰分の働きを十分に発揮するには、苦土や磷との比率の上での兼ね合いや良好な蛋白質やその他の要素の条件も揃っていることが必要となると、餌作りの点で考慮すること以外に方法は無いように思われます。

表について説明すると、産後起立不能症と乳熱は予防注射の励行で減少化に向っていましたが、最近では予防をしなくても治療によって簡単に治るからなのか、予防注射を求める人が減り、二次的に骨折や脱臼を併発することを含めて、増加の方向を示しており非常に残念なことだと思えます。

最近の牛は、若令牛では石灰分がしっかりと骨の中に入り込んで、丈夫な骨を作る化骨現象が衰え、壮・老牛では牛乳中に石灰分を移行させるため、骨の中に含まれている石灰分がどんどん流れ出している石灰分現象が進み、自然に自分の骨が危くなったり、縮小したりして、その為にこの様な病気が多発して来たと思われています。

とされ、それ以上与えても泥として腸の中を素通りし、場合によっては悪影響を与えます。ですから石灰分を充分牛体に取り入れる為には吸収や利用され易い形で含まれている日常の餌の中にたっぷり含ませ求めるのが最も大切なこととなります。しかも餌の中に自然に含まれている石灰分の働きを十分に発揮するには、苦土や磷との比率の上での兼ね合いや良好な蛋白質やその他の要素の条件も揃っていることが必要となると、餌作りの点で考慮すること以外に方法は無いように思われます。

分婍予定の一週間前には是非予防注射をしてほしいところです。注射の対象は、3産目以上の牛で水肥りの感じのある牛で、産前産後の乳漏のある牛も含めて頂いてよいと思います。お産の前後に乳漏のあるものは、また、データー

これが原因だとすると、何だ、そうか石灰分(カルシウム)を豊富に餌に混ぜてやれば良いのか、と言うことになるのかと言うと、どっこい、それだけでは問題の解決にはなりません。石灰分として飼料に混ぜて与える量は、市販の製品の分量で一日に成牛で100g

とされ、それ以上与えても泥として腸の中を素通りし、場合によっては悪影響を与えます。ですから石灰分を充分牛体に取り入れる為には吸収や利用され易い形で含まれている日常の餌の中にたっぷり含ませ求めるのが最も大切なこととなります。しかも餌の中に自然に含まれている石灰分の働きを十分に発揮するには、苦土や磷との比率の上での兼ね合いや良好な蛋白質やその他の要素の条件も揃っていることが必要となると、餌作りの点で考慮すること以外に方法は無いように思われます。

分婍予定の一週間前には是非予防注射をしてほしいところです。注射の対象は、3産目以上の牛で水肥りの感じのある牛で、産前産後の乳漏のある牛も含めて頂いてよいと思います。お産の前後に乳漏のあるものは、また、データー

これが原因だとすると、何だ、そうか石灰分(カルシウム)を豊富に餌に混ぜてやれば良いのか、と言うことになるのかと言うと、どっこい、それだけでは問題の解決にはなりません。石灰分として飼料に混ぜて与える量は、市販の製品の分量で一日に成牛で100g

とされ、それ以上与えても泥として腸の中を素通りし、場合によっては悪影響を与えます。ですから石灰分を充分牛体に取り入れる為には吸収や利用され易い形で含まれている日常の餌の中にたっぷり含ませ求めるのが最も大切なこととなります。しかも餌の中に自然に含まれている石灰分の働きを十分に発揮するには、苦土や磷との比率の上での兼ね合いや良好な蛋白質やその他の要素の条件も揃っていることが必要となると、餌作りの点で考慮すること以外に方法は無いように思われます。

(7) 組合だより

つて、有機質の豊かな地力の高い土地を基盤に、栄養素の均衡のとれた飼料作物を作って頂きたいと言うのが獣医師の目から見たお願いと云うことになるのでしようか。まだ石灰不足と云えば石灰による腐植の分解促進や、石灰過剰の害とは無関係に石灰だけを散布したり、有機質と云えば、有機質分解のための土壌のエネルギー収脱のあることを度外視して生牛糞を施肥とするなど、私達から見れば身の細る思いが多過ぎるように思えてなりません。勿論、現在の労働力・施設投資など問題は山積しているものと思いますが、何とかこの様な方向に目を向けて着実に転換を進めて頂きたいと思えます。

また出来上った飼料の調製に当たっても、良い乾草作りを主目標にサイレージにしても劣悪なものを作らないなどご検討を給りたいと思えます。

以上、既にご承知の事、二番、三番煎じの事ばかりかとも存じますが再度ご確認頂ければ幸いです。また当診療課でも陣容が次第に整備されて参りましたので、今後は組合便りの各号に、こんなことがあった、病気のポイント・予防はこんなようになど、と泥くさい診療体験をもとに記事を掲載

する予定ですのでご一読下さい。終りに組合員ご各位の一層のご繁栄を祈念申し上げ結ばせて頂きます。

自然と牛との触れあいの生活はとて面白い!

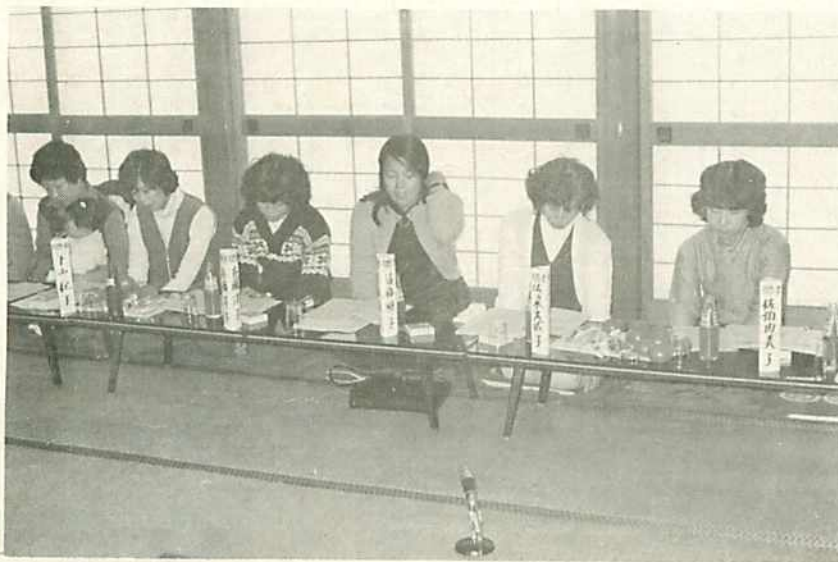
農家に嫁いだ花嫁さんを囲む交流会

酪農家に嫁いだ若妻を囲んでの懇談会が先ごろ二日間の日程で養老牛温泉、藤屋旅館で開催された。根室地方後継者対策連絡協議会と道農村花嫁対策推進協議会の共催で行われたもので、根室管内から二十人の若妻が出席した。

ほとんどが最近結婚した人達で実習で知り合い、熊本、兵庫、東京からの花嫁さんもいた。

座談会のテーマは、嫁ぐきっかけとなった出会いのようすを糸口に、家庭生活の体験談や、経営についての意見などがでて、終始和やかなムード。若妻の大半は酪農とあまり関係のない環境から飛び込んだとあって、困ったことや苦しかった経験などには実感がこもっていた。しかし「自然と牛との触れ合いの生活はとて充実します」とはっきり言う。

中標津農協からは、佐伯由美子さん(北進)、佐々木美佐子さん(依橋)、遠藤順子さん(東俣落)、斉藤洋子さん(西開陽)、下山紀子さん(売立)の五人が出席しました。



右から
佐伯由美子さん、佐々木美佐子さん
遠藤順子さん、斉藤洋子さん
下山紀子さん

根室管内

農協海外研修旅行に参加して

購買部長 千葉益雄

十一月三十日～十二月六日迄（六泊七日）の七日間根室管内農協組合員の皆さん方総勢四七名によりタイ国（バンコック）台湾（台北）の研修旅行に参加し十二月六日無事帰町しました。

農協別参加者を大別しますと別海十七名中標津十二名計根別八名標津八名関係団体二名で実施されました主な日程は、

十一月三十日釧路空港より東京へ。東京で一泊翌十二月一日成田空港より香港経由でタイのバンコックへと向うバンコック着二十時三十分ホテルで旅装を解き一夜を過す。

十二月二日現地交通公社関係のバス二台に分乗日本ガイド嬢の案内により市内観光と名所めぐり、観光船で有名なメナム川の水上マーケットを皮切に見玉宮、エメラルド寺院、大理石寺院、タイ古典舞踊、古武道等を見学後ホテルの二日間を過す。

バンコック見学印象について
日本との時間差二時間あり国の面積は日本の一・四倍と広く気温約

単に記します。
市内は交通量も多く、走っている車は七〇％位が日本車であり三〇％英国其の他の製品との事です。
又道路は車優先であり車の事故の保障はそれぞれ身分で異なり、一般車での事故死の保障額は三〇万～六〇万位と少く日本と比較にならないく人命尊重度が想像以上に低いようです。
十二月三日バンコックを空路香港経由で台北にホテル着が二〇時三十分。
十二月四日午前九時バス二台に分乗し市内観光、名所めぐり
主な場所は総統府、龍山寺、孔子廟、歴史博物館、白糸の滝、高砂族踊り等見学台北での二日間をホテルで過した。

しかし、仏教国で王制の国柄という事でそういう面では日本には見られない面も見受けられ特に旧王宮、エメラルド寺院、大理石寺院等立派な寺院等が多く永い年月をかけて建築しただけあって大理石の張付建築等すべての寺院は日本では見られない建物而立並び其の点仏国の偉大さがうかがわれました。又国民全員が生涯の間何ヶ月かは仏門に入り修業する国の規則がある様にも聞き此の様な面でも国柄の違いを感じた次第です。では二日間滞在した町の状況を簡

単に記します。
市内は交通量も多く、走っている車は七〇％位が日本車であり三〇％英国其の他の製品との事です。
又道路は車優先であり車の事故の保障はそれぞれ身分で異なり、一般車での事故死の保障額は三〇万～六〇万位と少く日本と比較にならないく人命尊重度が想像以上に低いようです。
十二月三日バンコックを空路香港経由で台北にホテル着が二〇時三十分。
十二月四日午前九時バス二台に分乗し市内観光、名所めぐり
主な場所は総統府、龍山寺、孔子廟、歴史博物館、白糸の滝、高砂族踊り等見学台北での二日間をホテルで過した。
台北の印象について。
日本時間との時差一時間
国の面積は九州の十分の七程度と小さく総人口は一、七〇〇万位で台北の人口は二二五万で総人口の七分の一位が台北に集中台湾の首都らしく交通建物等密集大都會の印象を受けたが外観は日本の都市と変わりありません。
台湾は日清戦争以来日本の統治国だけあってショッピング等観光面でも日本語の不自由は、ありません。しかし国が世界的に認められない関係上輸出入もない様で自

昭和53年度
てん菜実績報告

農 産 課

新年を迎え、組合員の皆様は、何かと御多忙の事と存じます。

昨年のでん菜も、気候、及び、管理技術の向上に伴ない、中標津農協内で史上最高のヘクタール当り四十七トンを記録する事が出来今年度へ新たな期待がもてそうです。尚、作付面積も、昨年六十八ヘクタール、今年は、十二月未現在で作付する農家も徐々に増加しています。又、今後、てん菜を作付する方に対しても受付致しますので農産課の方へ連絡下さい。

尚、てん菜は、補助事業なので土改資材（炭カル、ヨーリン）、牧草種子が六割以内の助成があります。（注）永年草地、コーン跡に対象となります。

詳しくは、農産課、ホクレン原料所の方に連絡願います。

第2回
受賞者

中標津農協から
清水管理部長(職員)

根室管内農業賞



受賞者 (右端 清水さん夫妻)

「根室管内農業賞」の第二回表彰式が根室農業会館で行なわれ、中標津農協から清水良雄さん(管理部長)が選ばれ、表彰状と記念品が贈られ、功績がたたえられた。清水部長は、昭和二十三年根室生産連に俸職、一年有余で中標津農協に転出。爾来三十年の永きに亘りひたすら農協運営に挺身し、

組合員農家の営農指導と農協運営に当たり、農家経済の向上ならびに組合財務の健全化に日夜献身的努力をすることともに、特に農村文化の向上に欠くことのできない農電事業、農業電話の設置等に情熱を注ぎ、今日の酪農と農協の発展の基礎を築いた功績は、他職員の範とするもの。

永年草地更新の必要性

農産課

A 永年草地がなぜ悪いのか。

(原因)

①より生産性の高い草種は、次方に駆逐され、より生産性の低い草種におきかえられる。

②土壌表面の堅密度の増加(大型機械の踏圧等)

③土中における酪素の欠乏。

④窒素飢餓。

⑤土中における過剰な二酸化炭素。

⑥好ましくない土壌(PH) 充分な有効燐酸および加里の欠乏。

以上のことから永年草地(老朽化草地ともいう。は低生産草地と言われる程減牧が、顕著である。B 草の栄養化も低下。

牧草栽培では、高牧量即高栄養が常識であるが、減牧(量)はすぐ目につくが、それ以上に栄養価(質)の低下のあることを忘れてはならない。

即ち良好草地の牧草10kgと老朽化草地の牧草10kgを乳牛に与えた時

第1表 良好草地と老朽化(低生産)草地の植生と栄養組成成分の比較 (北農試)

区分	10a当 収量 kg	植生割合(%)			栄養組成(乾物中%)							摘要
		まめ科	いね科	雑草	蛋白質	脂肪	セニ	石灰	リン酸	カロチン		
良好草地	1,620 (425)	26	72	2	14.2 (129)	3.9 (144)	20.0 (63)	1.1 (122)	0.5 (125)	6.5 (120)	更新後 2年目	
老朽化草地	380 (100)	8	75	17	11.0 (100)	2.7 (100)	31.9 (100)	0.9 (100)	0.4 (100)	5.4 (100)	更新後 8年目	

蛋白質生産量(10a当り)をみると 良好草地 1,620kg×14.2%=230.4kg(100.0%)
老朽化草地 380×11.0=41.8kg(81.1%)

※赤クローバが消えたら、更新の時期がきていると判断される。

さらにこれらの畜産物の生産にどう影響するかをみると第2表の通りで、極言すると老朽化草地への放牧では草をもとめて歩行する栄養補給で精一杯で、とうてい畜産物生産は期待できない。

第2表 良好草地と老朽化(低生産)草地における乳牛の時間当り採食栄養量の比較 (北農試)

区分	採食量 kg	固形分 kg	可消化 蛋白質 g	可消化 分糖 kg	石灰 g	リン酸 g	カロチン mg	歩行 距離 m	摘要
良好草地	8.53 (215)	1.67 (180)	330 (270)	1.10 (170)	2.19 (190)	8.2 (240)	2.13 (160)	340 (83)	更新後 2年目
老朽化草地	3.95 (100)	0.83 (100)	120 (100)	0.65 (100)	1.11 (100)	3.4 (100)	1.31 (100)	450 (100)	更新後 8年目

組合員名	上旬	中旬	下旬	組合員名	上旬	中旬	下旬	組合員名	上旬	中旬	下旬
三宅忠義	0	0	0	真部 愈	0	1	0	谷村茂夫	1	0	0
門馬四郎	0	0	0	渡辺利秋	0	0	0	武田三郎	0	0	0
中塚文夫	1	0	0	田代良司	0	1	1	藤井弘美	0	0	0
石原竜雄	1	2	1	相沢武雄	0	0	0	北村一仁	1	0	0
西井 武	0	0	1	太田俊昌	0	0	0	杉本匡視	1	0	0
土井上信一	1	0	0	古瀬敏弘	0	0	0	佐藤載康	1	1	0
土井上政雄	1	1	1	小谷盛一	0	0	0	松本幸男	0	0	0
小沼佐太郎	1	0	0	秋山政雄	1	1	0	飯野一郎	1	0	0
熊谷 正	0	0	1	斉藤 勉	0	0	0	横田国雄	0	1	0
山本雪信	1	1	1	広瀬定夫	0	0	1	竹下日吉	1	1	1
真野米光	0	0	0	半沢勇雄	0	0	0	柳田治郎	1	0	0
寺島 享	0	0	0	笠原良夫	1	1	0	青木喜三	0	0	0
佐藤憲治	1	1	1	武田伊三郎	0	0	0	青木重次	0	0	0
佐藤忠男	1	1	0	後木 章	1	1	0	関又左工門	1	0	0
佐藤和雄	0	0	0	久保花次郎	0	1	0	横田好一	1	2	2
塩田専治	0	0	2	新井 真	0	0	0	田島量平	0	0	0
五十嵐徳治	0	0	0	片野 博	0	1	0	西山 健	0	0	0
田中清司	0	1	0	第二俣落地区							
山本秀夫	1	0	0	西村徳守	0	1	0				
安達武蔵	1	0	0	保科 清	1	0	0				
志賀安尾	1	0	0	松岡喜代之助	0	0	0				
志賀正治	0	0	0	田代 昭	0	1	0				
篠永鉄雄	0	0	0	井ノ口定則	1	1	2				
俣落地区				安江八五郎	1	0	0				
原 藤子	0	1	1	釘持広昭	0	0	0				
大木敏夫	0	0	0	斉藤 別	0	1	0				
小林金司	2	0	1	峰松秀樹	1	0	0				
板橋松寿	1	2	1	山口広幸	0	0	0				
岩井 昇	1	1	0	沖 一美	0	0	0				
服部一好	0	0	0	片岡宅次	0	0	0				
遠藤太一	0	0	0	弾正原正春	1	1	0				
遠藤幸吉	1	0	0	国光 昭	1	1	0				
高橋正三	0	0	0	遠藤直行	0	0	0				
松村晴由	1	0	0	佐伯 証次	1	1	2				
小山美芳	0	0	0	来栖 寛	0	0	0				
本村正春	2	0	0	川村清身	0	0	0				
菅原 清	1	0	0	加藤 繁	1	1	0				
上村弘志	1	0	0	萩原蝶七	1	1	1				
上村重光	0	0	0	星野昇司	0	0	0				
上村 力	0	0	0	星野盛恵	3	2	2				
松本正通	1	1	1	滝本勇雄	0	0	0				
藤原信男	1	0	0	滝ヶ平義明	1	0	0				
遠藤忠義	2	1	2	滝ヶ平茂	0	0	0				
山下鉄男	2	1	1	滝ヶ平茲夫	2	0	0				
阿部 稔	0	0	0	内山 勲	0	0	0				
上ヶ島国雄	0	0	0	八木原明治郎	1	1	2				
山崎民蔵	0	0	0	中浦健夫	1	0	0				
藤田貞蔵	1	0	0	前原秀隆	1	1	0				
藤田誠一	1	1	1	町田芳照	1	0	0				
釘持幸男	0	1	0	房川喜清	0	0	0				
遠藤与畏二	0	0	0	宮脇正治	1	0	0				
宮田 実	0	0	0	滝本信孝	2	0	0				
鷲見 孝	0	1	1	富沢保男	2	1	0				

〇乳出荷を目標に頑張ろう

乳房炎の牛乳は出荷しません
出来ません!!

旬別個乳検査成績 (ランク別戸数)

ランク別旬	0	1	2	3	4	5	合計
上旬	188	104	22	1	0	0	315
中旬	218	84	13	0	0	0	315
下旬	239	58	18	0	0	0	315
合計	645	246	53	1	0	0	945
合格率	68.3	26.0	5.6	0.1	0	0	100.0

地区別個乳合格率

地区旬	当幌	中標津	依橋	開陽	武佐	第二俣落	俣落	平均
上旬	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	98.0	100.0	99.7
中旬	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
下旬	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
月平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	99.3	100.0	99.9

12月 乳質検査成績表

中標津農業協同組合

標	組合員名	上旬	中旬	下旬	標	組合員名	上旬	中旬	下旬	標	組合員名	上旬	中旬	下旬	標	組合員名	上旬	中旬	下旬	
	当幌地区																			
バ	飯島光五郎	0	1	0	バ	高藤祐藏	0	2	0	バ	国見正雪	0	0	1	バ	佐々木武雄	0	0	0	
バ	飯島精一	0	0	0	バ	連田弘	0	0	0	バ	国見実	1	1	0	バ	日下一芳	0	1	0	
バ	奥田勝佳	1	0	0	バ	永谷雄幸	1	1	1	バ	齐藤哲雄	0	0	0	コ	福島広光	0	0	0	
バ	奥田岩男	0	0	0	バ	長繩弘	0	0	0	バ	齐藤栄七	0	0	0	バ	加茂正毅	0	0	0	
バ	中山安寿	0	0	0	バ	麻郷地忠勝	1	0	0	バ	伊藤七郎	1	1	1	バ	佐々木政行	0	1	0	
バ	山川健三	2	2	1	バ	麻郷地忠勝	1	1	0	バ	千葉清一	1	0	1	バ	三友盛行	1	0	0	
バ	阿部俊勝	0	0	0	バ	小針晴信	1	0	0	バ	村井直行	1	1	1	バ	高島貞作	0	0	0	
バ	鈴木祥幹	0	0	0	バ	花川秀一	1	1	0	バ	山崎正喜	0	0	0	バ	福島信一	0	0	0	
バ	西垣丈夫	1	0	2	バ	古沢亀治	2	1	0	バ	後藤田信夫	1	0	1	バ	古田起雄	1	1	0	
バ	小原治	0	0	1	バ	花川稔	0	0	0	バ	齐須安雄	1	0	1	バ	本村萌夫	1	0	0	
バ	吉田繁行	0	0	0	バ	今井秀和	0	0	0	バ	今井靖清	0	0	1	バ	中田敏夫	0	0	0	
バ	竹村満夫	0	1	0	バ	東原正広	0	0	0	バ	山田良太郎	2	1	0	バ	真野勇	1	1	0	
バ	高橋常次	0	1	0	バ	岡部実	0	0	0	バ	房川喜延	1	1	0	バ	多田俊夫	2	0	1	
バ	筒井留雪	0	0	0	バ	渡辺善行	0	0	0	バ	笹淵二郎	1	0	0	バ	小岩正一	1	2	2	
バ	筒井良秋	0	0	0	バ	松隈健二	1	1	0	バ	井上亮夫	2	1	2	バ	伏見哲	0	0	1	
バ	室井太吉	0	1	0	コ	小林義忠	0	0	1	バ	笠井剛	0	0	0	バ	中川一平	0	1	0	
バ	安田康正	0	0	0	バ	古瀬イセ	0	0	0	バ	赤堀岩男	1	1	1		武佐地区				
バ	山田一男	0	0	1	バ	藤本久雄	2	1	1	バ	鈴木敏夫	1	1	1	バ	丹羽孝	1	0	0	
バ	松田昌介	2	1	0	バ	小川清	0	0	0		俵橋地区				バ	丹羽賢一	1	0	0	
バ	舟田正明	1	1	0	バ	佐藤道嘉	0	0	0	バ	名越成夫	0	0	1	バ	亀井泉	0	0	0	
バ	菊地良	0	0	0	バ	佐藤末美	2	1	0	バ	佐藤清	1	0	1	バ	中司哲弥	0	0	0	
バ	遠田要三	0	0	0	バ	佐藤抔	1	0	1	バ	乾守夫	1	0	1	バ	上原徳保	0	0	1	
バ	西山隆一	2	2	1	バ	佐藤永雄	0	0	0	バ	乾洋	0	0	0	バ	工藤正義	0	0	0	
バ	長正路正義	0	0	0	バ	佐藤束	0	1	0	バ	伊東武	0	1	1	バ	舟橋清高	0	0	1	
バ	大野富夫	1	0	0	バ	望月幸男	0	1	0	バ	大山富雄	1	1	1	バ	酒井清隆	0	0	0	
バ	吉成はな子	1	0	2	バ	白築政博	1	0	0	バ	山下孝二	0	0	0	バ	目黒雅隆	0	0	0	
バ	福村守	0	0	0	バ	武田勇	0	0	0	バ	北川栄治	0	0	0	バ	工藤重美	0	0	0	
バ	遠藤弘成	0	1	0	バ	高橋敏夫	1	2	0	バ	水本正二	0	0	1	コ	児島喜一	1	1	1	
バ	笠原金吾	0	1	0	バ	熊倉彦吉	0	0	0	バ	水本一三	0	0	0	バ	児玉光彦	0	0	0	
バ	唐崎幸司	0	0	0	バ	小林茂夫	0	0	0	バ	山本正八	0	0	0	バ	坂口亀一	1	1	0	
	中標津地区				バ	阿部正六	0	0	0	バ	榎田英雄	0	1	0	バ	白田穰	0	0	0	
バ	緩坂欣一	1	0	1	バ	佐藤三男	0	0	0	バ	穴吹貞明	1	1	1	バ	新谷正治	2	0	0	
バ	緩坂恭民	0	1	1		開陽地区				バ	佐藤き多子	0	0	0	バ	井口精一	1	1	0	
バ	吉川晴久	0	0	0	バ	土井上昭男	0	0	1	バ	佐々木文作	1	1	2	バ	川上茂	1	1	0	
バ	滝場光明	0	0	0	コ	向館金吾	1	0	1	バ	野口忍	0	0	0	バ	長谷川寿	0	0	0	
バ	久保慶一郎	0	0	0	コ	山田輝男	2	2	0	バ	太田功	0	0	0	バ	花尻武雄	0	0	0	
バ	久我良夫	0	0	0	コ	船越政雄	0	1	1	バ	岡次郎	0	0	1	バ	中条由治	0	0	0	
バ	正城純一	0	0	0	コ	浅野トミ子	1	1	1	バ	金子安有	0	0	0	バ	中条啓一	1	0	0	
バ	荒昭一	0	0	0	バ	吾妻寅男	0	0	0	バ	高野国雄	0	0	1	バ	奥村保章	1	0	1	
バ	桜井誠造	0	0	0	コ	鈴木嵩	2	2	2	バ	中林勇	0	0	0	バ	萱岡信二	0	0	0	
バ	佐々木繁雄	0	0	0	バ	桜井精治	0	0	0	バ	工藤隆弘	1	0	0	バ	高橋昌信	0	0	0	
バ	佐藤信義	0	0	0	バ	高橋寅之助	0	0	0	バ	赤波江清	0	0	0	バ	中塚秀夫	1	0	0	
コ	奥村武雄	1	1	1	バ	中本栄二	0	0	0	バ	沢口正志	0	0	0	バ	黒田正夫	2	1	2	
コ	阿部忠次郎	1	0	2	バ	丸田良夫	0	0	0	バ	桜井義雄	0	0	0	バ	藤原勝一	1	0	2	
バ	三森章司	0	0	0	バ	鈴木重蔵	1	0	0	バ	大西秀良	0	2	0	バ	秋山実太	1	1	0	
バ	川手輝雄	0	0	0	バ	高橋一男	1	0	0	バ	大西英明	0	0	0	バ	佐藤春行	1	1	2	
バ	下山恵子	0	0	0	バ	高平幸夫	0	0	0	バ	福島昭憲	0	1	0	バ	佐藤一広	0	0	0	
バ	石崎多門	0	0	0	バ	中本要	2	0	0	バ	下川原秀子	0	0	0	バ	清原賢一	1	0	0	
バ	林仁一郎	0	0	0	バ	半沢利平	0	0	0	バ	三輪貞夫	0	0	0	バ	湯山稔	0	1	2	
										バ	西山一義	0	0	1	バ	湯山幸男	1	1	1	

除雪事業計画決まる

畜産課

中標津町の除雪計画が、過日開かれ除雪センター長、道路愛護組
市長会議にて協議されました。

除雪総延長六四二・二キロ、町道四四七・二キロ、私道一九五キロ

効率的な除雪ができるように各地区に除雪センター長を設け除雪に

当ってはセンター長の指示に基づいて出動する体制が取られているので地区のセンター長と連絡を取る

ようお願いします。

次の事項が協議の中で確認されました。

一、除雪作業の順位

は次の通りです。

中標津農協管内に約三十名の実習生がいます。この程、農協大会

除雪センター長名簿

地区名	長名	電話
1 武佐第1	石橋喜作	4-2238
2 武佐第2	白田穰	4-2154
3 俵橋	長町要	2-2836
4 俵中	山本正八	3-3920
5 南中	吉川晴久	2-8308
6 共成	工藤隆弘	3-3858
7 俣落	半沢勇雄	2-7266
8 西当幌	小原治	2-8213
9 当幌	飯島光五郎	2-8253
10 第2俣落	安江八五郎	2-7293
11 南共栄	遠藤弘成	2-7274
12 豊岡	渡辺善行	2-8167
13 協和	小林茂夫	2-8298
14 開陽	赤堀岩男	3-3754
15 上中	奥村武男	2-8256
16 南俵橋	多田俊夫	3-3987
17 北中	向館金吾	3-3766
除雪連絡員		
18 第2俣落	佐伯権次	2-7307
19 北光	宮脇正治	2-7251
20 中標津農協	佐野課長	農協 2-3275
		自宅 2-3308

実習生の集まり開く

議室に十七名が集まり食事をしながら自己紹介、酪農実習に米た動機など話しあった。

この日、作業を終えた七時半から集まり楽しい一日を過ごした。

- | | | | | |
|---------------------------|-----|------|------------|------|
| 松本玲子 | 西武佐 | 中条牧場 | 千輪真二 | 高嶺 |
| 大島悦男 | 北進 | 川村牧場 | 小野まり子 | 北進 |
| 出田千秋 | 新開陽 | 笠井牧場 | 屋域万里 | 共栄 |
| 野口政子、山下、内沢、村崎、ウエン・アングスタッド | | | 小出清信 | 新開陽 |
| | | | 小原英隆 | 俵橋 |
| | | | 大久保康正、藤井俊夫 | 東武佐 |
| | | | 松川俊一 | 児玉牧場 |
| | | | 小沢章男 | 新生 |
| | | | | 松岡牧場 |
| | | | | 開陽 |
| | | | | 丸田牧場 |
| | | | | 開陽 |
| | | | | 中本牧場 |

